

【資料2】

第2回物部川地域アクションプランフォローアップ会議資料

平成 26 年 2 月 14 日

平成 26 年度物部川地域アクションプランの拡充項目について

地域アクションプランの追加・削除項目について

地域アクションプランの動向

H25年度 236 → H26年度 245 (+9)

地 域	H25年度	H26年度		
	AP数 H25.12時点	追 加	削 除	AP数
安 芸	30	6	▲2 (統合)	34
物部川	24	0	0	24
高 知 市	32	0	0	32
嶺 北	28	0	0	28
仁淀川	38	0	▲2 (統合)	36
高 幡	42	5	▲1	46
幡 多	42	4	▲1	45
合 計	236	15	▲6	245

平成26年度 物部川地域アクションプラン（案）項目対比表

【物部川地域】

No.	現在(平成25年度)	南国市	香南市	香美市	No.	改定案(平成26年度)
1	南国市の園芸主幹品目シットウの再構築	●			1	南国市の園芸主幹品目シットウの再構築
2	エメラルドメロンの販売力向上対策		●		2	還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化
3	ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」	●	●	●	3	エメラルドメロンの販売力向上対策
4	地産地消・食育の推進	●			4	ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」
5	直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大	●			5	生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策
6	地域農産物を活用した直販所「ひかり市」の施設拡充	●			6	直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大
7	地域の特産品づくり～農産物加工への取組～	●			7	地域農産物を活用した直販所「ひかり市」の施設拡充
8	「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組	●			8	加工品販売による夜須地域の活性化
9	大学生による地域応援団(ソポーター)づくり	●	●	●	9	地産地消・食育の推進
10	加工品販売による夜須地域の活性化			●	10	「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組
11	生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策			●	11	民有林における素材の増産
12	香美市ブランドの確立・特産品づくり			●	12	木質バイオマスの活用に向けての取組
13	民有林における素材の増産	●	●	●	13	シイラ等の加工商材活用
14	木質バイオマスの活用に向けての取組	●	●	●	14	地域の特産品づくり～農産物加工への取組～
15	シイラ等の加工商材活用			●	15	香美市ブランドの確立・特産品づくり
16	「ごめん」の振わいづくり～ごめんの活性化～	●			16	「ごめん」の振わいづくり～ごめんの活性化～
17	香南市の地場産品販売促進		●		17	香南市の地場産品販売促進
18	香南市の商業振興への取組		●		18	香南市の商業振興への取組
19	地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興			●	19	地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興
20	観光事業から観光産業へ～観光産業の振興～	●			20	観光事業から観光産業へ～観光産業の振興～
21	体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信		●		21	体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信
22	「森の駅」を中心とした体験型観光の推進			●	22	「森の駅」を中心とした体験型観光の推進
23	広域観光の取組の推進	●	●	●	23	広域観光の取組の推進
24	還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化	●			24	大学生による地域応援団(ソポーター)づくり

物部川地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加：該当なし

■削除：該当なし

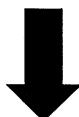
■その他

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	加工品販売による夜須地域の活性化 (香南市) 【実施主体】協同組合やすらぎ市	【修正】平成 26 年度計画事業を平成 25 年度に実施したため、「加工施設の確保」について、実施年度を平成 26 年度から平成 25 年度に修正する。
2	民有林における素材の増産 (物部川地域全域) 【実施主体】各森林組合、林業事業体等	【修正】森の工場整備済面積に係る目標数値を達成し引き続き整備を進めていくため目標数値を上方修正するとともに、「森の工場」について実施年度終期を平成 25 年度から平成 28 年度以降に修正する。なお、修正後の目標数値については関係機関と調整中。

修正項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
10 加工品販売による夜須 地域の活性化 《香南市》	地場産品を生かした加工品 開発・販売を行い、生産農 家の所得向上につなげる。	・協同組合やすら ぎ市			<p>◆新加工品開発によ る顧客の開拓</p> <p>◆インターネット販売 の充実強化</p>

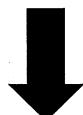


【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 加工品販売による夜須 地域の活性化 《香南市》	地場産品を生かした加工品 開発・販売を行い、生産農 家の所得向上につなげる。	・協同組合やすら ぎ市	<ul style="list-style-type: none"> ・加工組合(製造部)の結成(H25) ・加工責任者の配置(H24)及び農業創造セミナーの活用による加工品開発(H25) ・産業振興推進総合支援事業費補助金の活用(H25) ・地元加工業者との連携(H24～H25) ・ホームページ活用の優良事例の情報収集(H24～H25) ◆加工(生産)体制の整備が図られた。 ◆加工方法の具体化と商品化が進んでいる。 ◆加工施設が確保できた。 ◆新加工品の開発状況をブログで情報発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> -主力商品の定着 -加工品の安定生産 -商品数の増加 情報受発信ツールとしての活用強化 	<p>◆新加工品開発によ る顧客の開拓</p> <p>◆インターネット販売 の充実強化</p>

修正後

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27			指標	目標値(H27)
					→	加工販売額 (H22:7,000万円)	1億円
新加工品開発による顧客の開拓							
・加工希望者の呼びかけ、組織結成 ・加工品の開発研究、商品化							
		加工施設の確保					
		加工品の販売					
インターネット販売の充実強化					→		
HPの充実強化							
		加工品のインターネット販売					



第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27			指標	目標値(H27)
					→	加工販売額 (H22:7,000万円)	1億円
新加工品開発による顧客の開拓							
・加工希望者の呼びかけ、組織結成 ・加工品の開発研究、商品化							
	加工施設の確保						
	加工品の販売						
インターネット販売の充実強化					→		
HPの充実強化							
	加工品のインターネット販売						

修正項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
13 民有林における素材の増産 《物部川地域全域》	森林所有者の所得の向上と、山村地域の振興を図るために、引き継ぎ集約化事業を推進し、森の工場の拡大と素材の増産に取り組む。	・各森林組合 ・林業事業体等	<ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の推進(H21~23) ・林業事業体の育成(H21~23) ・担い手の育成確保(H21~23) ・放置林の解消(H21~23) ◆地元説明会を開催し、集約化施業の周知に努めた結果、H22年度には、森の工場の面積が目標に到達した。また、造林補助金や森林林業再生プラン実践事業など、各種補助事業を活用し、作業道開設や高性能林業機械の導入に取り組んだ結果、搬出間伐における生産性が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不在村地主の増加、森林所有者の高齢化、相続などによる境界確認、境界確定の困難化 ・放置林の解消 ・保育間伐の集約化 ・林業労働力の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◆森の工場の推進 ◆森林経営計画の策定 ◆林業事業体の育成(高性能林業機械、作業道など基盤整備) ◆担い手の育成・確保(伐採、搬出技術を有する職員の育成) ◆境界確認作業及び森林情報等のデータ整理と活用 ◆放置林の解消(保育間伐の実施)

修正前

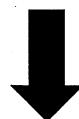


【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 民有林における素材の増産 《物部川地域全域》	森林所有者の所得の向上と、山村地域の振興を図るために、引き継ぎ集約化事業を推進し、森の工場の拡大と素材の増産に取り組む。	・各森林組合 ・林業事業体等	<ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の推進(H21~25) ・森林経営計画の策定(H24~25) ・林業事業体の育成(H21~25) ・担い手の育成確保(H21~25) ・放置林の解消(H21~25) ◆集約化団地の拡大に向けて、森林所有者への説明会を開催し、集約化施業の周知に努めた結果、24年度には森の工場の面積が目標を大きく上回る結果となつた。 また、事業地となる森の工場の拡大と併せ、国庫補助事業を活用し、作業道開設や高性能林業機械の導入を図り、搬出間伐による素材の増産に向けて基盤整備を行ってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森の工場における森林施業の同意率のアップ ・不在村地主の増加、森林所有者の高齢化や相続等による境界確認、境界確定の困難化 ・放置林の解消 ・保育間伐の推進 ・林業労働力の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◆森の工場の推進 ◆森林経営計画の策定 ◆林業事業体の育成(高性能林業機械、作業道など基盤整備) ◆担い手の育成・確保(伐採、搬出技術を有する職員の育成) ◆境界確認作業及び森林情報等のデータ整理と活用 ◆放置林の解消(保育間伐の実施)

修正後

第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
森の工場の推進 森林経営計画の策定 林業事業体の育成(高性能林業機械、作業道など基盤整備) 担い手の育成・確保(伐採、搬出技術を有する職員の育成) 境界確認作業及び森林情報等のデータ整理と活用 放置林の解消(保育間伐の実施) 森の工場の推進				→	「森の工場」 整備済面積 (H22:9,400ha) 素材生産量(民有林 のみ) (H22:26,053m ³)	15,459ha 47,500m ³



第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
森の工場の推進 森林経営計画の策定 林業事業体の育成(高性能林業機械、作業道など基盤整備) 担い手の育成・確保(伐採、搬出技術を有する職員の育成) 境界確認作業及び森林情報等のデータ整理と活用 放置林の解消(保育間伐の実施) 森の工場の推進				→	「森の工場」 整備済面積 (H22:9,400ha) 素材生産量(民有林 のみ) (H22:26,053m ³)	19,000ha 47,500m ³

